

新型コロナ感染拡大 症状の特徴は?薬不足は? オミクロン株から派生した「ニンバス」が猛威を振るう

8 / 29 CBCテレビ



<https://news.yahoo.co.jp/articles/f1ff323c5133bb1d78d7f8b35898714cb7387729?page=1>

新型コロナの感染者が増加傾向にあります。特に猛威を振るっているのがオミクロン株から派生した「ニンバス」です。

名古屋市中川区の加藤クリニックをけさ訪ねました。

(大石邦彦アンカーマン)

『「かぜ症状・発熱の方」は別室で、隔離した状態で検査。まだここまで徹底しているんですね』

きょう午前、38度台の発熱があり受診に訪れたという70代の男性。

(70代の男性)

Q.「もしかしたらコロナかな」と思った?

「思っていない。コロナにかかったことがないから分からない」

Q. 体調はそこまできつくないですか?

「ないです」

男性は「倦怠感や喉の痛みはない」と言いますが、抗原検査の結果は…

(加藤クリニック 加藤政隆院長)

「赤い線が出たのでコロナ陽性です。コロナの薬いる?大丈夫そう?」

(70代男性)

「大丈夫」

(加藤院長)

「熱の薬を出すので、涼しい部屋で水分をよくとって養生して」

■8月に入って増える新型コロナ感染者

新型コロナの変異株「ニンバス」は、喉の痛みがクローズアップされていますが、男性のように喉の痛みがなく、発熱症状だけの方もいらっしゃるようです。

(加藤院長)

Q. 8月に入って何人陽性?

「8月はきのう時点で約30人。7月は13人ですので、圧倒的に増えていると言える」

Q. そんなに喉が痛くなくても「ニンバス」の可能性はある?

「おっしゃるとおりです」

また、60代の男性はおととい発熱し、コロナとインフルエンザの検査では陰性だったということですが、38度台の高熱がなかなかおさまらなかったため、きょう再受診。

(60代男性)

「頓服を4錠もらって飲んだ。いつときは良かったけど、すぐまた…」

検査の結果は、コロナ陽性。

(加藤院長)

「ゾコーバという薬を出します。初日は3錠で、あとは1錠ずつ飲んで」

コロナの症状が重症化するリスクが高い患者に処方している「ゾコーバ」は、ウイルスの増殖を抑える保険適用の薬です。価格は3割負担で1万5000円です。

■抗ウイルス薬「ゾコーバ」どんな効果?

一方こちらは、同じく中川区の大島薬局。加藤院長が処方した抗ウイルス薬「ゾコーバ」については、服用しない場合と比べると解熱など症状が1日程度早く回復すると薬剤師の大橋さんは話します。

(大島薬局 薬剤師 大橋弘治さん)

「コロナにかかっている期間が1週間くらいなので、早く治せる薬です」

Q. その差は薬剤師から見てもどう?

「1日2日と思うかもしれないが、コロナの後にもう一度受診され、まだ喉が痛い・咳がずっと出ている、声が上手く出ないなど、ひどい炎症の期間を少し短くすることによって、後遺症が少し減る感じはする」

大島薬局で扱う2種類の抗ウイルス薬「ゾコーバ」と「ラゲブリオ」。いまのところ「在庫はある」ということです。

■薬局では慢性的な“薬不足”

しかしここ数年、風邪薬などの薬不足は続いているといいます。

半年前、インフルエンザが流行した際の取材では、棚には「在庫困難」の札が多くかけられていました。きょうは、その札はかけられていませんでしたが…

(大橋さん)

Q. 薬不足は解消された?

「まだ変わらずです。少しましになったものもあるが、ないものは変わらず足りていない状態」

Q. どんな薬が足りない?

「咳止め。入ってきていないので、ほとんど使っていない状態」

Q. 咳止めを処方するときはどうする?

「他の咳止めで対応しています」

Q. やりくりできている？

「なんとか今のところギリギリ…」

さらに、大島薬局に薬を納めている医薬品卸売業者の男性は…

(医薬品卸売業者)

「これから冬に向けて、またコロナの波が来ると、ますます薬が足りなくなるので在庫を貯めていきたいですが、なかなか貯まらない状況」

慢性的な薬不足の中、さらに感染が拡大すれば、必要な人に薬が届かなくなる可能性も考えられます。それを防ぐためには？

(薬剤師 大橋さん)

「自分で健康を守っていくことです」

■「熱中症に気をつけながらマスク着用を」

愛知県内では、先週 1 医療機関あたりの感染者数が、1 年ぶりに 10 人を超え、5 週連続で増加しています。では、感染のピークはいつになるのでしょうか？

(加藤クリニック 加藤院長)

「今後ひと月くらいじゃないでしょうか。夏で人がたくさん集まって、いろんなイベントがあつて、人が接する機会が多くて、しかもマスクをしていない状況で、数字を見る限りでは今後まだ増え続ける印象はある。重症化する人は高齢者、基礎疾患がある人。十分注意してほしい」

私たちができる対策について加藤院長は「人ごみに行く場合などは、熱中症に気をつけながら、マスク着用を徹底してほしい」ということや…

(加藤院長)

「ワクチンを打っていただく。かかったら抗ウイルス薬を処方してもらう。そういう選択が必要だと思う。新型コロナワクチンの接種率が非常に悪くて 10% 台。季節性のインフルエンザだと 50% くらいは打っていただける。そういったこともあつて今後、感染拡大するのではという心配がある」

名古屋市では、ことし 10 月 15 日から 65 歳以上の人と、60～64 歳の基礎疾患のある人については、各自治体の定期接種が始まる予定です。摂取は、強制ではなくワクチンの効果や副反応について、自分で納得した上で摂取を検討するよう呼びかけています。